

## コスタリカ内政・外交定期報告（2017年1月～3月）

2017年1月～3月の当国内政・外交主要事項は以下のとおり。

### 【要旨】

#### 内政

●2018年大統領選挙への主要候補者が出そろい、各政党の候補者選びに向けた動きが活発化。立候補のため、経済産業商業大臣が辞任した他、国会議長が休職を表明。

#### 外交

●1月16日、コスタリカはニカラグアを新たな領土問題で提訴。2月2日、ICJは同「境界の正確な画定及び軍事基地建設に関する紛争」事件と、2014年に同じくコスタリカがニカラグアを提訴した「カリブ海及び太平洋における海洋境界画定」事件を併合することを発表。

●3月14日から17日にかけて、ソリス大統領はトランプ政権発足後初となる米国訪問を実施。ペンス副大統領と会談を行い、中米と米国間のFTAであるCAFTAの維持、オバマ前政権下で合意された、麻薬問題に関する協力の継続を確認。

●3月27日にNYで開始された核兵器禁止条約交渉の議長に、ホワイト・コスタリカ寿府代大使が選出。コスタリカ政府は、同条約のマנדートを支持し、同大使を支援する旨表明。

●3月29日、サンホセにおいて、ソリス大統領が議長を務め、第16回トクストゥラ首脳会合を開催。

### I 内政

#### 1 2018年大統領選挙にかかる動向

(1) 1月10日、アルバレス国会議長が、国民解放党(PLN)の2018年大統領候補を決めるための党内選挙への立候補登録を行うとともに、同選挙を行う4月2日のPLN党大会まで、国会議長の職を休職する旨発表。3月7日、オスカル・アリアス元大統領が、同国会議長への支持を表明。

(2) 2月2日、ヴェルメル・ラモス・ゴンサレス経済産業商業大臣が市民行動党(PAC)の2018年大統領候補として出馬するために辞任。後任としてジェアニア・ディナルテ同省副大臣が就任。

#### 2 主要政党から2018年大統領選挙への立候補状況(3月末時点)

##### (1) 市民行動党(PAC)

党内選挙日：7月9日

立候補者：ウェルメール・ラモス前経済産業商業大臣及びカルロス・アルバラド前労働大臣

(2) 国民解放党 (PLN)

党内選挙日：4月2日

立候補者：ホセ・マリア・フィゲーレス元大統領，アントニオ・アルバレス・ディサンティ国会議長，ロランド・ゴンサレス国会議員及びシヒフレッド・アイサ元国会議員

(3) キリスト教社会統一党 (PUSC)

党内選挙日：6月4日

立候補者：ロドリフォ・ピサ現PUSC幹事長及びラファエル・オルティス元国会議長

(4) 広域戦線 (FA)

党内選挙日：5月7日

立候補者：エドガルド・アラヤ国会議員及びフランク・カマチョ国会議員

(5) 自由運動党 (ML)

党内選挙日：7月16日

立候補者：ナタリア・ディアス国会議員及びオットー・ゲバラ国会議員

## II 外交

### 1 二国間関係

#### (1) 対ニカラグア関係

ア 1月16日，コスタリカ外務省は，当国とニカラグアの間領土係争案件に関する2015年12月16日のICJ（国際司法裁判所）判決に基づくニカラグアへの賠償金請求について，ICJに対して賠償額を決定するように要請した。2015年12月16日のICJ判決において，ニカラグアが国際法に違反してコスタリカの領土を占拠したことに伴い，ニカラグアがコスタリカに損害を賠償する義務が認定されたことを受け，コスタリカは，ニカラグアに6,723,476ドルの損害推定額を提示したものの，期限までにニカラグアからの回答はなかったため，コスタリカがICJに対して賠償額を決定することを要請したもの。

イ 1月16日，コスタリカはニカラグアを新たなICJに提訴した。ニカラグアが，2015年12月16日のICJ判決でコスタリカの領土として認められたイスラ・ポルティージョ地区の一部に軍の駐屯施設を設置していることの違法性の認定，及び，ニカラグアがハーバー・ヘッド・ラグーンと呼称するロス・ポルティージョス湖とコスタリカ領の境界に横たわる砂州の帰属の明確化を要請。2月2日，ICJは同「境界の正確な画定及び軍事基地建設に関する紛争」事件（コスタリカ対ニカラグア）を受理し，コスタリカ及びニカラグアの申述書の提出期限を3月2日及び4月18日とそれぞれ定め，同事件と2014年に提訴された「カリブ海及び太平洋における海洋境界画定」事件（コスタリカ対ニカラグア）を併合することを発表。

## (2) 対メキシコ関係

3月8日、メキシコは、コスタリカが2015年5月よりメキシコ産アボガド・ハス種の輸入を禁止していることに関して、メキシコが世界貿易機関(WTO)に提訴。貿易省(COMEX)は、今般の訴訟に係る費用は少なくとも60万ドルと見積もっている。

## (3) 対中国関係

ア 2月1日、モイン精油所拡張計画の中止に伴う、コスタリカ石油精製公社(RECOPE)と中国石油天然気集团公司(CNPC)の合弁会社SORESCOの清算過程において、中国側が損害賠償を求める意向を表明。

イ 2月24日、中国中央軍事委員会の国際軍事協力局長である Guan Youfei 海軍少将や同委員会ロジ支援部衛生課次長の Xi Lisuo 大佐等計6名からなる中国国防部一行がコスタリカを訪問し、ゴンサレス外務大臣及びマタ公安警察大臣との会談を行った。同訪問は、2016年7月に両国外相が北京で署名した、2016-2020年共同協力行動計画に基づいたもの。会談において、両国は友好の絆を一層深めるとともに、中国政府から治安分野に対し、5百万ドルの無償資金協力を行うことが表明された。同資金は、治安当局の研修に加え、警察、空域監視部隊、沿岸警備隊の船舶等のための機材購入に使用される。

## 2 ソリス大統領の外遊

### (1) アラブ首長国連邦訪問

1月16日から18日にかけて、ゴンサレス外務大臣とモラ貿易大臣とともに、投資促進のため、アラブ首長国連邦を訪問。ソリス大統領は、同国訪問中、「アブダビ持続可能週間」の一環として開催された、世界未来エネルギーサミット(WFE2017)に参加したほか、ムハンマド・ビン・ザーイド・アル・ナヒヤーン・アブダビ皇太子と会談し、無償資金協力、投資、コスタリカ製品の輸入について協議した。また、ゴンサレス外相はリーム・ビント・エブラヒム・アル・ハシミ国際協力相及びアブダラー・ビン・ザーイド・アル・ナヒヤーン外相と会談を行った。同国からコスタリカへの投資は、インフラ改善事業、フリーゾーン、観光業に資すると目されており、コスタリカは2年前から中東地域における戦略を策定し、2015年には貿易の拠点となる事務所をカタールに開設している。

### (2) 米国訪問

3月14日から17日にかけて、ゴンサレス外相とともに米国を訪問し、ペンス米副大統領との会談を実施し、麻薬問題、不法移民問題、中米と米国間のFTAであるCAFTAの維持を含む二国間の貿易問題について協議し、オバマ前政権下で合意された、麻薬問題対策に関する協力を、トランプ政権下でも実施していくことを確認した。2016年8月に両国間で合意された協力は、貨物輸送機、船舶、警察用の監視機器等の供与等を含む大型支援。また、モラ女性相とともに、グテーレス国連事務総長及び国連女性の経済的エンパワーメントに関するハイレベル・パネルの担当者達と会談を実施。ソリス大統領は、IKEAスイスのCEOである Scarpeleggia 氏とともに、同パネルの共同議長を務めてい

る。

### 3 ゴンサレス外相の外遊

#### (1) ジュネーブ訪問

2月28日、ジュネーブを訪問し、国連欧州本部において、核兵器禁止条約交渉のマンデートを完全に支持し、ホワイト・コスタリカ寿府代大使が、核兵器の禁止と完全な廃絶のための条約交渉の議長に選出されたことを名誉に思うと述べた。また、第34回国連人権理事会に出席し、オランダのクーデンス外相とアラブ首長国連邦外相の、アブダラー・ビン・ザイド・アール・ナヒヤーン殿下と会談を行ったほか、クロアチアは、政治協議メカニズム創設にかかる覚書に署名した。

#### (2) アルマグロOAS事務総長との会談

3月9日、米国を訪問し、OAS総会に先立ち、アルマグロOAS事務総長と会談を行った。両者は、米州における政治的活動は激しくなっており、OASは様々な視点から関心を払っていくことで一致した。また、政治、経済、社会問題に起因する新たな移民の状況、ベネズエラ情勢等についても協議した。

#### (3) 第22回カリブ諸国連合(ACS)閣僚会合への参加

3月10日、キューバのハバナで開催された、第22回カリブ諸国連合(ACS)閣僚会合に出席した。閣僚会合ではロドリゲス・キューバ外相が議長を務め、ソメルACS事務局長が事務局長としての最初の数ヶ月間の取組について報告を行った。

#### (4) 核兵器禁止条約交渉への参加

3月27日、NYで開始された核兵器禁止条約交渉第一回会議のハイレベル・セッションに参加した。ゴンサレス外相は、同プロセスは、法の欠缺を埋め、国際法に新たな章を加えるという明確な方針を有すると述べ、武器の禁止は廃絶が前提となるとの歴史が示しているとおおり、核兵器の禁止に向けて、使用、所持、開発の非合法化にかかる規定を作っていくと強調した。また、コスタリカにとって本交渉の開始自体が目的ではなく、核軍縮と不拡散にかかる他の枠組の中の1つの要素と捉えており、来年で50周年を迎えるNPTも核不拡散のための基礎であるとし、核兵器禁止条約はNPT第6条を補うものになると述べた。

### 4 その他

#### (1) SICA外相会合及びSICA・メキシコ外相会合の開催

3月2日、サンホセにおいて、コスタリカが議長国を務め、SICA外相会合及びSICA・メキシコ外相会合を開催。外相会合には、ベリーズ、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマから外相、ドミニカ共和国から副外相、エルサルバドルから特派大使が参加した。また、デ・アビレスSICA事務局長も出席し、執行委員会の強化、SICA・チリ間のワーキンググループの創設、地域の移民政策にかかる提案に対する各国の検

討状況に関する協議等，地域アジェンダ内の優先事項について引き続き協議した。S I C A・メキシコ外相会合では，各国外相は，地域の最も重要な課題に立ち向かうため，協働していくことで一致し，国民の福祉を確保し促進するために，持続可能な発展が中心的役割を果たすことを確認した。

#### （２）第16回トクストゥラ首脳会合の開催

3月29日，サンホセにおいて，第16回トクストゥラ首脳会合を開催。トクストゥラの枠組は，S I C A加盟国にメキシコ，コロンビアを加えた10カ国により構成されており，メソアメリカ・発展と協力プロジェクト（PM）を推進している。コスタリカが議長国を務め，サントス・コロンビア大統領，モラレス・グアテマラ大統領，ペニャ・ニエト墨大統領，バレーラ・パナマ大統領等が出席。「メソアメリカが私達を一つにする」のローガンの下，地域の発展に向けた官民連携（Alianza Publico-Privado, APP）の促進，移民問題等について協議された。